

令和2年度 事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

社会福祉法人 エージングライフ福祉会

クレーネ堺

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月～令和3年3月)

平成13年7月9日に社会福祉法人エージングライフ福祉会が設立され、平成14年10月1日に各施設、事業所の開設以来、「多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重し、総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援すること」を基本理念に掲げ、高齢者介護・福祉サービスを提供して参りました。

令和2年度は1月末より流行した新型コロナウイルスの感染拡大を最大限防止する観点から、職員の健康管理、うがい・手指洗淨・手指消毒・マスク着用、館内の消毒などを行いました。また、ご家族や認定調査員等の面会制限のご協力をお願いし電話やオンライン面会システム予約にてご利用いただき、必要な受診や看取りの面会等は、一定の感染対策条件を満たす場合のみ対応を行いました。施設内行事（活動）については場所、時間、内容、環境により、個別参加型活動あるいは少人数での活動を取り入れる等、新たな支援方法で活動を再開しています。

1. 特別養護老人ホームクレネ堺

平成14年10月1日に施設を開設して以来、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、施設サービス計画書に基づき、食事、入浴、排泄等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他日常生活のお世話、機能訓練、健康管理及び療養上の援助を行い、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように支援しました

1. 入所者の状況

(1) 保険者別入所者の状況

保険者名	男性	女性	合計
堺市	8	52	60
大阪狭山市	1	5	6
富田林市			
大阪市		1	1
河内長野市		1	1
奈良県大和郡山市		1	1
合計	9	60	69

(2) 入所者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
64歳以下			
65～69歳			
70～74歳	1	4	5
75～79歳	2	7	9
80～84歳	3	11	14
85～89歳	3	12	15
90～94歳		20	20
95歳以上		6	5
合計	9	60	69

☆平均年齢

男性	81.1
女性	86.5
全体	85.8

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	87	71
女性	101	72

(3)入所者の要介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性			2	4	4	4.2
女性	1	1	10	23	25	4.1
合計	1	1	12	27	29	4.1

(4)入所者の日常生活の状況

区 分			実 数	区 分			実数	
移動	自 立	自 立 歩 行	5	排 泄	昼 間	便 所	自己で可能	7
		歩行補助具使用	8				一部介助	26
	一部介助	12	全介助				6	
	全介助	46	ポータブル			自己で可能	0	
食事	自己で可能	33				一部介助	0	
	一部介助	14				全介助	0	
	全介助	21	おむつ使用		32			
入浴	自己で可能	0	夜 間		便 所	自己で可能	7	
	一部介助	18				一部介助	5	
	全介助	53				全介助	0	
着脱衣	自己で可能	1			ポータブル	自己で可能	0	
	一部介助	16				一部介助	1	
	全介助	54		全介助		0		
褥瘡者数			7	おむつ使用			58	
認知症	重 度	1	トイレ誘導実施者数			32		
	中 度	2						
	軽 度	4						

(5) 入所者の認知症別・自立度別状況

	不明	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
不明										
自立										
I							3			
IIa					1	2	1	1		
IIb				1		2	2	5		
IIIa						3	2	10	1	2
IIIb						3		8		1
IV				1			1	13	1	2
M								1		3

(6) 月別入退所者の状況

	1日現在の入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数	退所理由
		入所	退所		
令和2年4月	74	0	2	2226	入院後死亡①
5月	75	1	2	2311	転院①入院後死亡①
6月	75	0	0	2250	
7月	76	1	2	2357	施設で看取り①入院後死亡①
8月	74	3	1	2325	入院後転院①
9月	75	2	0	2277	
10月	76	3	2	2345	
11月	73	0	0	2191	
12月	73	3	2	2304	施設で看取り②
令和3年1月	75	2	2	2350	入院後転院①施設で看取り①
2月	75	1	3	2064	
3月	73	2	2	2255	入院後転院①
合計		18	18	27,255	

2 入所者の処遇状況

(1) 入浴の実施状況

区分	対象人員	1人1週当たりの回数	実施日1日当たりの人数	実施曜日	実施時間帯
一般浴槽による入浴	7	2	7	水・土	9:30~11:30
座位浴槽による入浴	32	2	13	月・木	13:30~16:30
			19	水・土	9:30~11:30/13:30~16:30
特別浴槽による入浴	33	2	8	月・木	9:30~11:30
			25	火・金	9:30~11:30/13:30~16:30

(2) リハビリテーションの実施状況 (令和3年3月31日現在)

種類	対象人員	1週間当たりの実施回数	1回あたりの平均参加人数	担当職員
歩行訓練	0	0	0	看護師兼機能訓練指導員・介護職員
立位訓練	0	0	0	看護師兼機能訓練指導員・介護職員
可動域訓練	0	0	0	看護師兼機能訓練指導員・介護職員

(3) レクリエーションの実施状況

種類	実施曜日	参加人数			担当職員
		男	女	計	
スポーツレク	随時	0	0	0	介護職員
音楽レク	随時	0	12	12	介護職員
体操 ビデオ鑑賞	随時	4	25	29	介護職員
個別レク	随時	0	3	3	介護職員
足浴	随時	0	0	0	介護職員

(4) 家族等の面会の状況、外泊の状況

新型コロナウイルス感染症の予防の為対面での面会や外泊は中止し、オンラインでのビデオ通話での面会や電話で会話をされている。外泊はなし。

3年間入所状況（定員77名・特養70名+短期入所生活介護7名）

月	可動日数	入所人数	ショートステイ人数	計	1日平均利用者数	定員/月 (77人/日)	満床率
4	30	2043	183	2226	74.2	2310	96.3%
5	31	2094	217	2311	74.5	2387	96.8%
6	30	2010	240	2250	75	2310	97.4%
7	31	2099	258	2357	76	2387	98.7%
8	31	2137	188	2325	75	2387	97.4%
9	30	2080	197	2277	75.9	2310	98.5%
10	31	2160	185	2345	75.6	2387	98.2%
11	30	2054	137	2191	73	2310	94.8%
12	31	2139	165	2304	74.3	2387	96.5%
1	31	2206	144	2350	75.8	2387	98.4%
2	28	1956	108	2064	73.7	2156	95.7%
3	31	2150	105	2255	72.7	2387	94.4%
合計	365	25128	2127	27255	74.6	28105	96.9%

2. デイサービスセンター クレーネ塚

平成14年10月1日にセンターを開設して以来、自宅に閉じこもりがちな高齢者(要介護又は要支援状態にある方)に対して、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、利用者の心身の特性を踏まえた上で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、通所介護計画に基づき介護や機能訓練等、通所介護サービスを提供しました。

1. 利用者の状況(介護予防通所介護を含む)

(1) 利用者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
64歳以下	0	0	0
65～69歳	0	0	0
70～74歳	1	2	3
75～79歳	0	2	2
80～84歳	1	5	6
85～89歳	2	6	8
90～94歳	1	5	6
95歳以上	0	5	5
合計	5	25	30

☆平均年齢

男性	85.6
女性	87.1
全体	86.8

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	94	72
女性	101	71

(2) 利用者の要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性	0	1	2	2	0	0	0	1.3
女性	0	0	12	5	4	3	1	2.0
合計	0	1	14	7	4	3	1	1.9

2. 年間入所状況(定員30名/日)

月	稼働日数	利用者数	1日平均	一般浴	介護浴	定員数/月 (30人/日)	利用率
4	26	416	16.0	369	34	750	55.5%
5	26	373	14.3	329	35	750	49.7%
6	26	464	17.8	405	33	750	61.9%
7	27	465	17.2	414	29	750	62.0%
8	26	455	17.5	396	44	750	60.7%
9	26	440	16.9	367	48	750	58.7%
10	27	443	16.4	370	55	750	59.1%
11	25	413	16.5	342	48	750	55.1%
12	25	429	17.2	339	54	750	57.2%
1	24	402	16.8	324	44	720	55.8%
2	24	396	16.5	344	26	720	55.0%
3	27	438	16.2	377	30	750	58.4%
合計	309	5,134	16.6	4,376	480	8,940	57.4%

5. グループホーム フローラ

平成18年3月1日にホームを開設して以来、認知症によって自立した生活が困難になった高齢者に対して、家庭的な環境のもとで、心身の特性を踏まえ、認知症の進行の緩和や悪化の防止を図り、尊厳ある自立した生活を営むことができるように、食事、入浴、排泄等の日常生活場面でのお世話や介護を行いました。

1. 利用者の状況

(1) 利用者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
65～69歳	0	0	0
70～74歳	0	1	1
75～79歳	0	1	1
80～84歳	0	4	4
85～89歳	1	3	4
90～94歳	1	5	6
95歳以上	0	0	0
合計	2	14	16

☆平均年齢

男性	89.0
女性	85.3
全体	85.8

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	91	87
女性	92	72

(2) 利用者の要介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性	2	0	0	0	0	1.0
女性	5	8	1	0	0	1.7
合計	7	8	1	0	0	1.6

(3) 利用者の認知症別・自立度別状況

障害老人の自立度の状況

	不明	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
認知症老人の自立度の状況	不明									
	自立									
	I									
	II a									
	II b									
	III a				10					
	III b				2	4				
	IV									

2. 年間入所状況(定員18名/2ユニット)

月	稼働日数	月内の異動		入所延人数	ショート延人数	計	1日平均利用者数	定員/月(18人/日)	満床率
		入所	退所						
4	30			528	0	528	17.6	540	97.8%
5	31			473	0	473	15.2	558	84.8%
6	30		1	473	0	473	15.7	540	87.6%
7	31			527	0	527	18.0	558	94.4%
8	31	1		532	0	532	17.1	558	95.3%
9	30			540	0	540	18.0	540	100.0%
10	31			558	0	558	18.0	558	100.0%
11	30			540	0	540	18.0	540	100.0%
12	31		2	501	0	501	16.1	558	89.8%
1	31	1	1	459	0	459	14.8	558	82.3%
2	28			420	0	420	15.0	504	83.3%
3	31			485	0	485	15.6	558	86.9%
合計	365	2	4	6,036	0	6,036	16.6	6,570	91.9%

4. グループホーム クレーネ塚

平成14年10月1日にホームを開設して以来、認知症によって自立した生活が困難になった高齢者に対して、家庭的な環境のもとで、心身の特性を踏まえ、認知症の進行の緩和や悪化の防止を図り、尊厳ある自立した生活を営むことができるように、食事、入浴、排泄等の日常生活場面でのお世話や介護を行いました。

1. 利用者の状況

(1) 利用者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
65～69歳	0	0	0
70～74歳	0	1	1
75～79歳	0	0	0
80～84歳	0	4	4
85～89歳	0	7	7
90～94歳	0	4	4
95歳以上	0	2	2
合計	0	18	18

☆平均年齢

男性	-
女性	86.9
全体	86.9

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	-	-
女性	97	70

(2) 利用者の要介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性	0	0	0	0	0	-
女性	3	0	7	3	5	3.4
合計	3	0	7	3	5	3.4

(3) 利用者の認知症別・自立度別状況

障害老人の自立度の状況

認知症老人の自立度の状況	不明	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	G2
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II a	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II b	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III a	0	0	0	0	2	3	0	3	0	0
III b	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
IV	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0
M	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

2. 年間入所状況(定員18名/2ユニット)

月	稼働日数	月内の異動		入所延人数	ショート延人数	計	1日平均利用者数	定員/月(18人/日)	満床率
		入所	退所						
4	30	1	1	507	0	507	16.9	540	93.9%
5	31	0	1	496	0	496	16.0	558	88.9%
6	30	1	1	466	0	466	15.5	540	86.3%
7	31	1	0	499	0	499	16.1	558	89.4%
8	31	0	0	512	0	512	16.5	558	91.8%
9	30	0	0	489	0	489	16.3	540	90.6%
10	31	1	0	551	0	551	17.8	558	98.7%
11	30	0	1	506	0	506	16.9	540	93.7%
12	31	0	0	496	0	496	16.0	558	88.9%
1	31	1	1	521	0	521	16.8	558	93.4%
2	28	0	0	476	0	476	17.0	504	94.4%
3	31	1	0	509	0	509	16.4	558	91.2%
合計	365	6	5	6,028	0	6,028	16.2	6,570	91.8%

6. ヘルパーステーション クレーネ塚

平成14年10月1日にステーションを開設して以来、要支援者又は要介護者の心身の特性を踏まえてその有する能力に応じ自立した日常生活が営むことができるよう、身体介護、生活援助その他の日常生活全般わたる援助を行いました。

1. 利用者の状況(介護予防訪問介護を含む)

(1) 利用者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
64歳以下	0	0	0
65～69歳	0	0	0
70～74歳	3	3	6
75～79歳	0	1	1
80～84歳	3	5	8
85～89歳	1	6	7
90～94歳	1	7	8
95歳以上	0	1	1
合計	8	23	31

☆平均年齢

男性	81.0
女性	86.7
全体	83.8

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	94	71
女性	98	71

(2) 利用者の要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性	1	1	3	3	0	0	0	1.21
女性	3	1	7	7	2	2	1	1.80
合計	4	2	10	10	2	2	1	1.5

2. 年間利用状況

(1) 在宅・ニアン別利用人数

月	在宅			ニアン			合計		
	要支援	要介護	計	要支援	要介護	計	要支援	要介護	計
4	4	0	4	0	22	22	4	22	26
5	7	1	8	0	22	22	7	23	30
6	7	1	8	0	24	24	7	25	32
7	7	1	8	0	24	24	7	25	32
8	7	1	8	0	24	24	7	25	32
9	7	1	8	0	23	23	7	24	31
10	8	1	9	0	22	22	8	23	31
11	7	4	11	0	22	22	7	26	33
12	7	4	11	0	22	22	7	26	33
1	6	4	10	0	21	21	6	25	31
2	6	5	11	0	19	19	6	24	30
3	6	6	12	0	20	20	6	26	30
計	79	29	108	0	265	265	79	294	371

(2) 要介護度別派遣時間

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
時間	1020	1365	413:7	382:8	77:1	3,259

(3) サービス種類別利用実績(派遣時間別集計:介護給付)

(回)

	身体介護	身体生活	生活援助
0.5H未満	1,005	0	0
0.5H～1H未満	547	1	709
1H～1.5H未満	28	242	1,951
1.5H～2H未満	1	17	0
2H～2.5H未満	0	0	0
2.5H～3H未満	0	0	0
3H～3.5H未満	0	0	0
3.5H～4H未満	0	0	0
4H以上	0	0	0
合計	1,581	260	2,660

7. 有料老人ホーム メゾン・ド・ニアン

平成19年7月1日にホームを開設して以来、利用者に快適な住環境を提供するとともに、法人内外を問わず、居宅介護支援事業所や各種在宅介護サービス、医療機関等との連携を図り、生活全般にわたる支援を行いました。

1. 利用者の状況

(1) 利用者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
64歳以下	0	0	0
65～69歳	0	0	0
70～74歳	1	0	1
75～79歳	0	0	0
80～84歳	1	3	4
85～89歳	1	6	7
90～94歳	1	6	7
95歳以上	0	1	1
合計	4	16	20

☆平均年齢

男性	83.2
女性	88.5
全体	87.5

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	94	72
女性	98	83

(2) 利用者の要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性	0	0	2	2	0	0	0	2.1
女性	0	0	5	7	2	1	1	2.1
合計	0	0	7	9	2	1	1	2.1

2. 年間入所状況(定員24名)

月	稼働日数	月内の異動		入所延人数	ショート延人数	計	1日平均利用者数	定員/月 (24人/日)	満床率
		入所	退所						
4	30	0	0	660	0	660		720	97.0%
5	31	0	1	683	0	683		744	92.9%
6	30	1	0	720	0	720		720	91.6%
7	31	0	0	744	0	744		744	100.0%
8	31	0	0	744	0	744		744	100.0%
9	30	0	1	680	0	680		720	100.0%
10	31	0	1	681	0	681		744	93.2%
11	30	0	0	660	0	660		720	91.6%
12	31	0	1	707	0	707		744	91.6%
1	31	0	1	677	0	677		744	90.9%
2	28	1	0	571	0	571		840	86.7%
3	31	0	1	679	0	679		744	85.2%
合計	365	2	6	8,206		8,206		8,928	93.4%

8. ケアプランセンター クレーネ堺

利用者が要介護状態等になった場合においても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者自らの選択に基づき適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、サービスを提供して参りました。

1. 利用者の状況【介護給付35名・予防給付5名・申請中 0名】

(1) 利用者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
64歳以下	1	1	2
65～69歳	1	1	2
70～74歳	1	1	2
75～79歳	3	5	8
80～84歳	4	3	7
85～89歳	3	7	10
90～94歳	0	7	7
95歳以上	0	2	2
合計	13	27	40

☆平均年齢

男性	78.6
女性	83.5
全体	81.9

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	86	62
女性	96	49

(2) 保険者別利用者の状況

保険者名	男性	女性	合計
堺市	13	26	39
富田林市	0	0	0
大阪市	0	1	1
合計	13	27	40

(3) 利用者の要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	3	6	2	0	1	12
女性	1	4	7	6	7	2	1	28
合計	1	4	10	12	9	2	2	40

(4) サービス種類別割合 ※介護給付+介護予防給付(延件数)

サービス種別	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハ	通所介護	通所リハ	福祉用具	短期入所	短期療養	居宅介護管理	合計
件数	125	24	11	0	301	43	328	57	7	101	997
サービス種類割合	12.5%	2.4%	1.1%	0.0%	30.2%	4.3%	32.9%	5.7%	0.7%	10.1%	100%
法人内事業所件数	67	0	0	0	184	0	0	57	0	0	308
法人外事業所件数	58	24	11	0	117	43	328	0	7	101	689
法人内事業所割合	53.6%	0.0%	0.0%	0.0%	61.1%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	30.9%

2. 年間利用状況

月	介護	支援	合計
4	38	5	43
5	38	5	43
6	37	5	42
7	36	5	41
8	37	5	42
9	36	5	41
10	36	5	41
11	35	5	40
12	39	5	44
1	37	5	42
2	38	5	43
3	37	5	42
合計	444	60	504

新規	終了
1	4
0	1
0	0
0	1
1	0
0	1
0	0
0	1
5	2
0	1
2	2
1	0
10	13

令和2年度 身体拘束・高齢者虐待防止委員会

具体的な取組み

声かけの際、威圧的な話し方にならないよう、努めた

ちょっと待って、とスピーチロックをかけず、行動を予測し、先に対応する

認知症の理解や利用者をよく理解し、個々に会った声かけや介助を行う

身体拘束や虐待に対する知識を高め、職員間で指摘し合える環境を作る

常に高齢者を敬う気持ちを持ち、対応する

評価、反省、課題

スピーチロックにならないように予測して対応すると目標にしていたが、転倒や無断で場所を離れることを防止するため、「待って」や「座って」、「どこへ行くの」などのスピーチロックをすることが多々あった

職員同士で話し合い、利用者の行動の把握や様子観察をして改善できるように意見を出し合うことができた。

今年度はコロナウイルス感染防止のため勉強会が対面で行えなかったが、各自資料を読んで意見や感想を出してもらったので、今後には生かしていきたい

今後も改善する必要があるため、次年度も継続目標に取り組んでいく

令和2年度 行事委員会

<p>今年度の目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な行事を企画実行し、全ての利用者が楽しむことができる。 2. 部署間の連携を図りながら、職員全員で協力し盛り上げることができる。 3. 事故のないよう、円滑に行事を進めることができる。 4. 家族、地域住民、ボランティアの方々と交流を広めることができる。
<p>活 動 内 容 と 評 価</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1、4月の行事委員会メンバー紹介 2、8月敬老祝賀会準備、検討 3、9月21日（月）敬老祝賀会 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過の為、委員会の開催はできませんでした。 ・敬老祝賀会は多目的ホールでの合同開催は行わず、各部署でのお祝いとなりました。 ・ご家族の面会制限あり、地域住民、ボランティア等の交流もできませんでした。 <p>※次年度の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染予防を行いながら可能な状態になれば、委員会の開催、行事を再開しご利用者、ご家族が楽しく参加していただけるよう準備していきます。

編集後記

令和2年度においては、「環境整備の充実を図り、転倒・転落の軽減を目指す」「原因の確定できない打撲・内出血・表皮剥離を防ぐ」「職員間の声掛け、情報の共有、連携を強化する」を目標に挙げた。そして、使わない車椅子や備品をフロアに放置しない。センサーの動作確認、コール対応の迅速化に努める。利用者・介助者の双方にとって、より負担の少ない安全・安心な介護を考えて実践していく。ADLの低下に伴い発生するリスクを予測し、介助技術の向上へ繋ぐ。フロアを離れる際には周りのスタッフに声をかける。事故ひやりはっと報告書、申し送りノートを各スタッフが熟読し、情報の共有化を深めていく。以上を具体的な取り組み事項とした。

転倒・転落事故は71件発生し、前年度比で17件減少した。しかし、センサー・コール作動後に訪室するが間に合わず、転倒・転落に至る事故が年度で19件発生した。そのうちの4件はセンサーがオフ状態によるもので、重大事故も発生してしまった。事故防止対策を強化することにより、昨年12月4日以降は、センサーの作動確認の不備が原因と特定できる、または原因と考えられる事故は発生していない。

打撲・内出血・表皮剥離の発生件数は35件で大幅に減少した。前年度に導入した原因不明外傷報告書の効果が出ているのではないかと。報告書を作成、提出することにより、打撲や内出血、表皮剥離の好発部位、個別の利用者についての発生傾向も把握しやすくなっている。また、情報を共有することにより、注意喚起、気付きが増えていると思われる。

フロアを離れる際のスタッフ同士の声掛けについては、事故発生時の状況が、普通、やや余裕、余裕では、かなりできているのではないかと。事故発生時の状況が、非常に多忙、多忙の際の声掛けが十分にできていない。事故対策委員が率先して実践することにより、改善していきたいと考えている。

令和3年度は「利用者の行動をより深く把握・予測して事故防止に繋ぐ」「情報・状態を共有し、打撲・内出血・表皮剥離の軽減を目指す」「ゼロレベルの報告書を月に1件は提出する」を目標に挙げた。

日々の観察力をレベルアップする。その行動がなぜ事故につながるかを考えることができるよう介護技術の向上を目指す。申し送りノートや原因不明外傷報告書を活用する。報告書だけでなく、小さな気付きも記録に挙げる。事故へと繋がらないための対策を考え、文章化していく。以上を取り組み事項として、事故の軽減に努めていきたい。

特養 事故対策委員会

給食委員会（令和２年度）

<p>今年度の目標</p>	<p>おいしく召し上がって頂けるように食事の調理方法・盛付方を改善していく。また、食事を安全に提供できるように、厨房内を衛生的に保つように指導を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全においしく召し上がって頂けるように食事の調理方法・盛付方の改善を行う。 2. 厨房内を衛生的に保ち、食の安全を利用者へ提供する。 3. 食べることを通して、楽しみを提供する。 4. 食事の質の向上の為の委託会社への指導を行う。 5. 様々な行事食・レクリエーションを行えるように努める。
<p>活動内容と評価</p>	
<p>1. 安全においしく召し上がっていただけるように食事の調理方法盛り付け方の改善を行う。</p> <p>【厨房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の会議で各部署の食事への意見、改善点を話し合い、必要に応じ、調理、盛付方、提供方法の変更。 ・ 4月と10月に嗜好調査を実施。 給食会議にて集計と結果を報告し、各部署の希望を確認。 ・ レクリエーションで事故のないように行う為、給食会議で事前連絡を実施。 ・ 給食会議でのど詰め等ひやりはっと事例があった場合は、給食会議で内容を確認し、改善点を検討。 ・ 検食簿の記入漏れがあったので注意。 ・ 食事形態の変更に対して、職員間の連絡がきちんに行えていなかった。盛付方の改善を行う。 <p>【グループホーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗せ忘れが上半期多かった。 ・ 味付けにばらつきがあり検食簿への記入が増えた。話し合いの末少しずつ改善されていると感じる。 	<p>【セフィーロ】</p> <p>検食の量や食品状態の保存方法など厨房との打ち合わせが出来ていなかった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 厨房内を衛生的に保ち、食の安全を利用者へ提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月と12月に厨房内衛生点検を実施。 清潔な厨房を保つように指導。 ・ グリストラップ清掃業者に年に2回清掃を依頼。 3. 食べることを通して、楽しみを提供する。 <p>【厨房】</p> <p>部署毎のレクの他に薬膳料理・世界の料理、ご当地料理、誕生日メニューなど行事食を増やした。</p> <p>【特養】</p> <p>誕生日会メニューを提供しているが職員不足、意識不足で活用できてない事があった。食事レク開催が少ない中なので活用していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嗜好調査を通じて利用者様の希望するメニューの提供が出来た。

【グループホーム】

手作りメニュー、薬膳料理等種類が増えてよかった。

【デイサービス・クレーネ塚】

・新型コロナウイルス感染防止の為利用者様に作っていただく作業工程が組めなかったが目の前で職員が行う調理に興味を持っていたいただき、次回食べたいものなど意見を聞き出すことが出来た。

【セフィーロ】

・コロナ禍で職員による調理や料理のとりわけを行ったが利用者様は喜ばれていたが、有意義なレクリエーションが出来ない中だがもっと工夫して利用者様に楽しんでいただけるレクリエーションを考えればよかった。

・利用者様の目の前で厨房職員が串カツを揚げているところを見て喜び感動してくださった。

4. 食事の質の向上の為の委託会社への指導を行う。

【厨房】

・朝食の飲物のミスがあったので注意。
・異物混入や配膳間違い等があった際、厨房へ口頭のみで伝達し、給食委員へ後日報告することがあった。

・毎月厨房職員への研修実施。

研修内容等を会議で報告。

・各部署の検食簿を通して意見を確認し次回へ活かすように話し合う。

・乗せ忘れ、乗せ間違いがなくなるよう食事チェック体制の強化を行う。

5. 様々な行事食・レクリエーションを行えるように努める。

【厨房】

・行事食の種類を増やした。

【デイサービス・クレーネ塚】

・新型コロナウイルス感染防止の為、おやつ、昼食レクリエーションがすべて中止となってしまう空き時間使用のおやつ調理に変更したが、利用者様・職員の全員参加が出来なかった。

【特養】

・職員不足により調理レクが出来なかった。目の前でのお鍋の提供少なくなってしまった。

・目の前での鍋提供では厨房と事前に打ち合わせをして連携が取れていた。

・たこ焼きレクの際は祭りの音楽を流し、s職員が法被を着て行ったところ、利用者様の気分も盛り上がり、踊りだす方もいた。缶ジュースの提供なども行いフロアーでたこ焼きを焼けなくてもレクリエーションとして活用できた。

<p>(課題)</p> <p>【厨房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗せ忘れ、乗せ間違いが全部署が多かったので確認体制を強化しミスのないように努める。 ・味のばらつきの指摘が多かったが、調理師に要るものが大きいと調理師で連携しクレネ堺の味付けに合うようにすり合わせていくよう指導する。 <p>【特養】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日メニューを有効活用できるように誕生日会カード（お祝いカード）の作成、食事風景の撮影なども行い雰囲気盛り上げたい。 ・職員を増員することでより季節感のある食事レクリエーションを提供する。 ・検食簿への記入を密にし厨房と連携を深め利用者様のニーズにそったしよくじを提供できるように心がける。 ・食欲のわからない利用者様へ声掛けを工夫し、楽しく食事を召し上がっていただけるようにする。 <p>【グループホーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止もあり、利用者様参加型のレクリエーションの開催が難しくなったので再開できるように工夫していく。 <p>【デイサービス・クレネ堺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人分ずつのセットにしてレクリエーションを行うようにする ・ホットプレートの使用が1台しかできないので、焼きの工程、蒸しの工程など厨房にしてもらいレクリエーションのメニューを増やしたい。 ・昼食レクリエーションでは全職員が参加し、調理台に背を向けている利用者様が 	<p>いないように事前にテーブルの配置を見直す。</p> <p>【セフィーロ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であるが利用者様が参加できる食事のニュースタイル（可能な限り）を変えていく。 ・目標や取り組みを達成できるように工夫して取り組む。 ・目の前で行うパフォーマンス料理やバイキング形式を増やして感動するレクリエーションにしていく。
--	---

令和2年度事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

特別養護老人ホームクレネ大阪

● 特別養護老人ホーム クレーネ大阪

令和2年度事業報告書

令和2年度コロナ禍の中感染拡大防止対策(持ち込まない、拡げない)による面会停止、職員・利用者様のPCR検査の徹底、新規入居者様の状態把握とPCR検査による周知の強化に努めてきました。令和2年9月10日に念願の満床を迎え、その後継続していくため1日の平均利用者数及び稼働率を着実に伸ばしていくように推進しております。又人材不足に関してもハローワークとタイアップしての人材発掘や外国人介護福祉士の受け入れの為森ノ宮医療大学との連携を図っております。今後経営安定化の為に満床の継続と質の向上の為に構築に努めていきたいと思っております。

1. 入所者の状況 (令和3年3月31日現在)

(1) 保険者別入所者の状況

保険者名	男性	女性	合計
大阪市	21	73	94
茨木市	0	1	1
箕面市	1	0	1
加古川市	0	0	0
宝塚市	0	1	1
尼崎市	0	3	3
高槻市	0	1	1
東大阪市	0	1	1
河内長野市	0	1	1
堺市	0	1	1
豊中市	1	0	1
芦屋市	0	1	1
合計	23	83	106

(2) 入所者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
64歳以下	0	0	0
65～69歳	1	2	3
70～74歳	4	5	9
75～79歳	3	5	8
80～84歳	7	12	19
85～89歳	4	21	25
90～94歳	4	16	20
95歳以上	2	14	16
合計	25	75	100

☆平均年齢

男性	82.8
女性	86.9
全体	85.9

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	97	67
女性	101	67

(3) 入所者の要介護度

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性	0	1	7	11	5	3.7
女性	0	0	17	34	24	4.1
合計	0	1	24	45	29	4.0

(4) 入所者の認知症別・自立度別状況

障害老人の自立度の状況

	不明	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自立	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
I	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0
II a	0	0	2	0	5	2	1	6	0	0
II b	0	0	1	2	8	12	1	9	0	0
III a	0	0	0	3	1	13	8	10	1	1
III b	0	0	0	1	0	4	4	0	0	0
IV	0	0	0	0	1	0	0	3	0	5
M	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0

認知症老人の自立度の状況

(5) 月別入退所者の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数	退所理由
		入所	退所		
令和2年 4月	87	5	3	2,450	協力医療機関
令和2年 5月	86	3	5	2,374	①死亡②療養型③その他
令和2年 6月	85	4	2	2,429	①死亡
令和2年 7月	93	7	3	2,583	①その他
令和2年 8月	88	3	3	2,654	
令和2年 9月	95	9	1	2,648	①協力医療機関
令和2年 10月	94	3	4	2,778	①その他②その他③死亡
令和2年 11月	96	2	3	2,655	①他施設入所②療養型
令和2年 12月	98	5	2	2,825	①その他
令和3年 1月	98	0	2	2,814	①その他
令和3年 2月	98	1	4	2,511	①その他②療養型③その他④死亡⑤その他⑥家庭
令和3年 3月	95	3	2	2,817	①死亡
合計	1113	45	34	31,538	

2. 入所者の処遇状況

(1) レクリエーションの実施状況

種 類	実施曜日	参 加 人 数			担 当 職 員
		男	女	計	
スポーツレク	随 時	10	25	35	介 護 職 員
音 楽 レ ク	随 時	10	28	38	介 護 職 員
運 動 (体操) ビデオ鑑賞	随 時	0	0	0	介 護 職 員
個 別 レ ク	随 時	114	303	417	介 護 職 員
足 浴	随 時	20	38	58	介 護 職 員

(2) 家族の面会の状況

	200回以上	150回以上	100回以上	50回以上	30回以上	1回以上	なし
面会の状況	0	0	0	0	0	47	0
外泊の状況	0	0	0	0	0	0	0

3. 年間入所状況(定員110名:特養100名+短期入所生活介護10名)

月	稼働日数	入所人数			ショート人数	計	1日平均 利用者数	定員/月 (110人/日)	満床率	
4	30	2,450			10	2,460	82.0	2,460	87.4%	
5	31	2,372			10	2,382	76.8	2,382	86.0%	
6	30	2,428			13	2,441	81.4	2,441	88.0%	
7	31	2,583			15	2,598	83.8	2,597	90.0%	
8	31	2,654			28	2,682	86.5	2,682	93.1%	
9	30	2,647			17	2,664	88.8	2,664	98.9%	
10	31	2,778			17	2,795	90.2	2,795	99.5%	
11	30	2,655			18	2,673	89.1	2,673	99.4%	
12	31	2,824			26	2,850	91.9	2,850	99.2%	
1	31	2,813			28	2,841	91.6	2,841	99.8%	
2	29	2,509			19	2,528	87.2	2,528	96.4%	
3	31	2,817			20	2,837	91.5	2,837	97.9%	
合計	366	31,530	0	0	0	221	31,751	86.7	31,750	94.6%

● デイサービスセンター クレーネ大阪

自宅に籠りがちな高齢者（要介護または要支援状態にある方）に対して、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、通所介護計画に基づき介護や機能訓練等、通所介護サービスを提供しました。また、地域に開かれた介護福祉施設の一環として、「寄愛喫茶」を開催し介護相談などを開催し、地域に浸透、信頼を深めてきた。

1. 利用者の状況（令和3年3月31日現在）介護予防・日常生活支援総合事業通所型独自を含む

(1) 利用者の年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
64歳以下	0	0	0
65～69歳	0	0	0
70～74歳	2	2	4
75～79歳	1	2	3
80～84歳	2	5	7
85～89歳	4	6	10
90～94歳	1	7	8
95歳以上	0	3	3
合計	10	25	35

☆平均年齢

男性	83.3
女性	86.4
全体	85.5

☆最高年齢・最低年齢

	最高	最低
男性	90	73
女性	96	71

(2) 利用者の要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性	0	1	4	2	1	1	1	2.2
女性	3	5	7	6	1	2	1	1.6
合計	3	6	11	8	2	3	2	1.7

2. 年間入所状況

月	稼働日数	利用者数	1日平均	一般浴	介護浴	定員数/月 (25人/日)	利用率
4	13	208	16.00	167	23	325	64.0%
5	8	89	11.10	76	6	200	44.5%
6	22	273	12.40	221	29	550	49.6%
7	23	291	12.60	211	45	575	50.6%
8	21	230	10.90	181	29	525	43.8%
9	22	244	11.00	197	25	550	44.4%
10	22	259	11.70	196	42	550	47.1%
11	21	234	11.10	187	28	525	44.6%
12	21	262	12.50	204	24	525	49.9%
1	20	213	10.70	181	13	500	42.6%
2	20	236	11.80	187	34	500	47.2%
3	23	231	10.00	187	22	575	40.2%
合計	236	2,770	11.80	2,195	320	5,900	46.9%

☆ 令和2年度 職員会議・各委員会一覧

名称	目的及び討議事項	構成員	開催日	備考
リーダー会議	各部署の連絡を密にし、業務を円滑に行う 1.職場管理の事項検討 2.各部署の連絡、調整	施設長 各部署管理者	月1回 毎月20日 14:00~15:030	(司会)施設長 (書記)輪番制
感染防止委員会	感染予防の知識を深め、感染拡大を防止し、日常生活環境の見直しを行う 1.感染症に関する啓発活動 2.手洗い指導の徹底 3.環境整備の見直し 4.感染発生時の状況把握と対策 5.事例検討	施設長、看護師、 介護職員、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士	月1回 第2金曜日 13:30~14:30	(司会)看護師 (書記)輪番制
褥瘡防止委員会	感染防止委員会と連動して情報発信を行い、質を高め、褥瘡発生予防を図る 1.ハイリスク者への褥瘡予防計画作成 2.褥瘡の実践的ケア 3.褥瘡予防の勉強会	施設長、看護師、 介護職員、介護支援専門員、生活相談員、管理栄養士	年3回(7.11.3) 第2金曜日 13:30~14:30	(司会)輪番制 (書記)輪番制
事故防止対策委員会	事故の危険予知能力を高め、事故発生の防止に努める 1.ひやりはっと体験事例の分析・対策の検討 2.事故防止対策マニュアルの見直し、介護技術の基本の習得とケアの統一を 3.事例検討 4.事例集の作成	施設長、看護師、 介護職員、介護支援専門員、生活相	月1回 第3金曜日 13:30~14:30	(司会)輪番制 (書記)輪番制
身体拘束防止・高齢者虐待防止委員会	介護・看護職員が身体拘束を行わないケアができ、身体拘束防止・虐待防止の知識を深め、質向上を図る 1.身体拘束を行わないケアの実践 2.勉強会の実施	施設長、看護師、 介護職員、介護支援専門員、生活相	年6回(4.6.9.11.1.3) 第4金曜日 13:30~14:30	(司会)介護主任 (書記)輪番制

行事委員会（ボランティア）	各部署間、地域との交流を図り、利用者の楽しみの提供を行う 1.利用者の沢山の笑顔を見ることができ 2.法人全体での取り組み、皆の協力を得る 3.各部署へのボランティア調整	施設長、看護師、介護職員、介護支援専門員、生活相	不定期 13：30～14：30	（司会）輪番制 （書記）輪番制
防災委員会	災害時に必要な役割について認識でき、安全管理マニュアルを整えること 1.年2回の防災訓練実施	施設長、看護師、介護職員、介護支援専門員、生活相	年2回（5.11）	（司会）施設長 （書記）輪番制
給食委員会	利用者においしく召し上がって頂けるよう食事の調理、盛り付け方を改善し、また安全に提供できるよう衛生に 1.献立の見直し、味付けや調理方法の検討 2.季節毎の料理やイベントを検討し、食事を通じて季節感を感じる 3.嗜好調査の実施	施設長、管理栄養士、介護職員、生活相談員	月1回 第3水曜日 13：45～14：30	（司会）当該施設 管理栄養士 （書記）当該施設管理栄養士
入所判定委員会（特養対象）	入所選考者名簿を作成するとともに、これに基づき入所順位の決定を行う	施設長、生活相談員、介護支援専門員、看護師、介護職員、管理栄養士	随時 14：30～15：30	（司会）生活相談員 （書記）介護支援専門員

☆ 令和2年度 研修実施状況(施設外)

期 間	研 修 名	主 催	参加人数
8月4日	ウイズコロナ時代採用における現状	サンスクエア堺	1
8月5日	事業理念と認知症介護	ZOOM研修	1
8月20日	ケアマネジャー学習会	ZOOM研修	1
8月25日	防災研修会	ZOOM研修	2
9月9日	雇用対策委員会研修会	ZOOM研修	2
9月9日	施設長研修会	ZOOM研修	2
9月23日	チームケアについて	ZOOM研修	1
9月25日	オンラインを活用した新卒者採用のポイント	ZOOM研修	1
9月28日	ケアマネジャー学習会	ZOOM研修	1
9月30日	労務管理研修	ZOOM研修	1
9月30日	多職種研修・協働研修会	ZOOM研修	1
10月28日	ケアマネジャー学習会	ZOOM研修	1